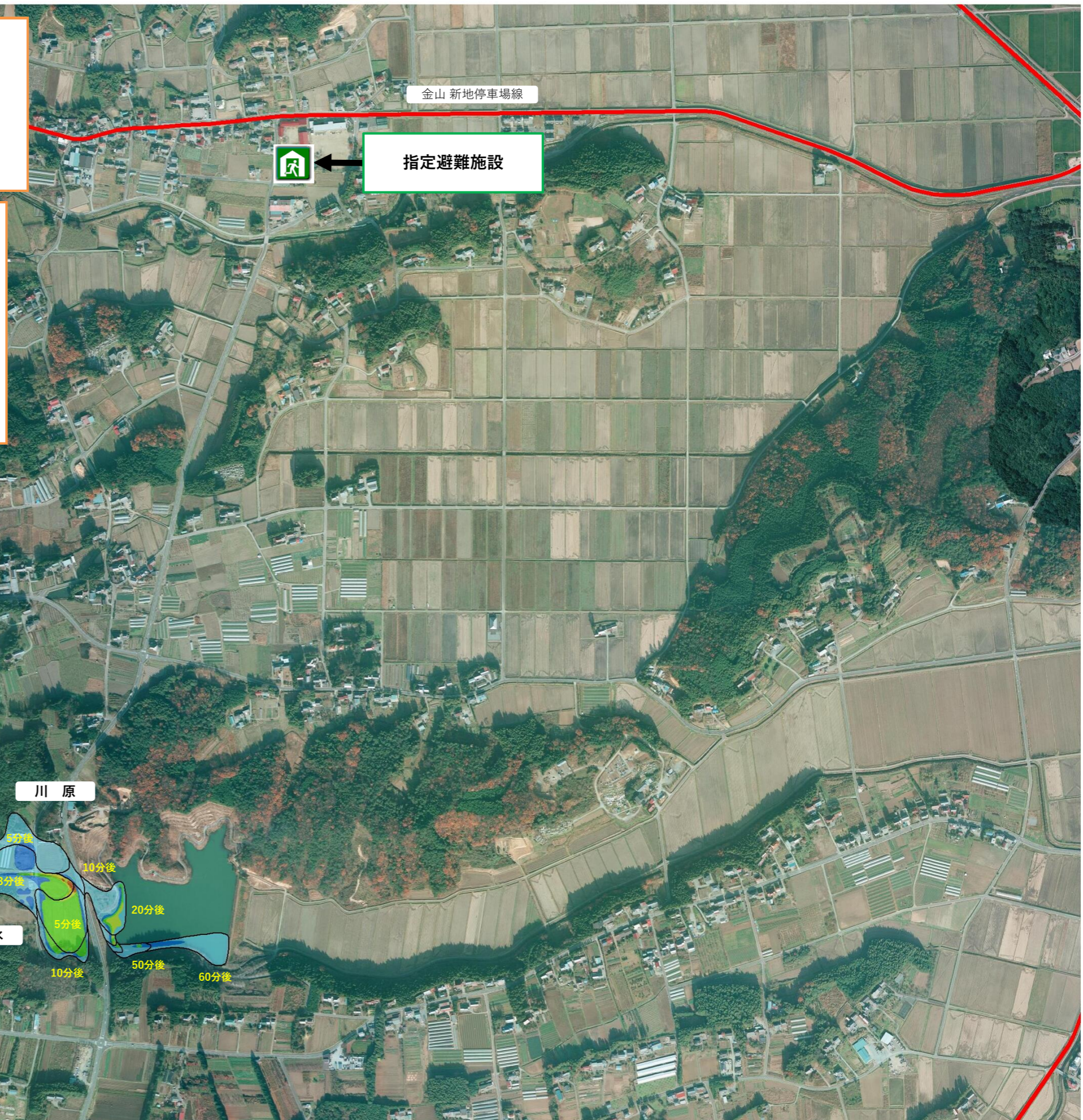


大清水ため池 ハザードマップ

大清水ため池ハザードマップは、万が一決壊した場合の備えとして、浸水の深さやいざという時の心構え、避難所などをハザードマップとして地図上に整理しました。浸水の特徴を理解して、地域住民が話し合い、ハザードマップを理解することで、いざ防災情報を得た際に正しい判断・行動がとれるようになります。よく目にするところに貼り、普段から家族や地域のみなさんと話し合いましょう。

いざというときは

- ・避難は可能な限り浸水が始まる前に
- ・動きやすい服装で、持ち出し品は最小限に
- ・必ず徒歩で！足下に注意して避難
- ・ため池直下（2.0m～3.0mの水深予想）：速やかに避難路を使って高台へ
- ・ため池直下以外（1.0m～2.0mの水深予想）：建物の2階などに移動し、水が引いたら避難所へ避難



凡例

最大水深

- 1.0m未満
- 1.0m～2.0m
- 2.0m～3.0m
- 3.0m～4.0m
- 4.0m～5.0m
- 5.0m以上